学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	課題研究	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究では、４つ（陶芸・クラフト・テキスタイル・製本）の班に分かれ、自らが問題意識を持ち、課題を決めて学習します。テーマを絞って研究しますが、各班で教科担当者と相談しながら学習を進めます。受身ではなく、能動的に課題を進め、コンペティションにも積極的に参加します。最後には、各班毎にプレゼンテーションを行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
今まで学んだ知識や技術などを基に、作品制作を通し、自ら課題を見つけて解決していく。
【思考力、判断力、表現力等】
テーマ設定をしっかり行い、分析・検討を自らが出来るようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
作業工程を計画し、合理的に進めるようになる。様々な方法でのプレゼンテーションを行う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デザイン分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 デザイン分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、自分なりの意見や考察が表現できている。	目的を理解し、達成のために試行錯誤を繰り返す中で、自ら考え、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。また、その成果を的確に表現できる。	テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。 自主的・継続的な学習を通じ、制作に関する探求的・創造的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	陶芸班	・手動ろくろ ・電動ろくろ ・自主制作 ・発表	a：課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け、意図に応じて創造的な表現方法で作品制作を行っている。計画的に課題に取り組み、期日内に制作を行い、発表や他者の作品に関して、自分の考えを発表することができる。 b：陶芸に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 c：適切な手段を企画・調査し計画を立てることができる。	観察 作品 発表	観察 作品 発表	観察 提出状況 作品 発表
通年	クラフト班	・演習課題 ・自主制作 ・発表	a：課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け、意図に応じて創造的な表現方法で作品制作を行っている。計画的に課題に取り組み、期日内に制作を行い、発表や他者の作品に関して、自分の考えを発表することができる。 b：適切な手段を企画・調査し計画を立てることができる。 c：クラフトに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	観察 作品 発表	観察 作品 発表	観察 提出状況 作品 発表
通年	製本	・製本演習 ・自主制作 ・発表	a：課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け、意図に応じて創造的な表現方法で作品制作を行っている。計画的に課題に取り組み、期日内に制作を行い、発表や他者の作品に関して、自分の考えを発表することができる。 b：絵本・製本に関心を持ち意欲的に取り組んでいる。 c：適切な手段を企画・調査し計画を立てることができる。	観察 作品 発表	観察 作品 発表	観察 提出状況 作品 発表

通年	テキスタイル	・ろうけつ染め ・シルクプリント ・自主制作 ・発表	a：課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け、意図に応じて創造的な表現方法で作品制作を行っている。計画的に課題に取り組み、期日内に制作を行い、発表や他者の作品に関して、自分の考えを発表することができる。 b：テキスタイルに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 c：適切な手段を企画・調査し計画を立てることができる。	観察 作品 発表	観察 作品 発表	観察 提出状況 作品 発表

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度